

第52期通期(2023年5月期)

# 決算説明資料

2023年7月14日

タケダ機械株式会社

証券コード：6150

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

# 2023年5月期の決算概要 (連結損益計算書)

(単位：百万円未満切捨て、%表示は対前年度又は対経営指標との増減率)

	当年度 実績値	前年度 実績値	対前年度との差異	
売上高	4,689	4,444	+244	+5.5%
営業利益	383	373	+10	+2.8%
経常利益	416	409	+7	+1.8%
(親会社株主に帰属する) 当期純利益	316	260	+55	+21.5%

	当年度 実績値	経営指標	対経営指標との差異	
売上高	4,689	4,800	△110	△2.3%
経常利益	416	330	+86	+26.2%

## 【対前年度との差異における主な要因】

### 〈売上高の増加〉

都市部を中心とする堅調なインフラ需要  
新型コロナウイルス感染症からの回復

### 〈営業利益、経常利益の増加〉

物価の上昇に伴う仕入価格の上昇  
→売上高の増加に対して利益は微増

### 〈当期純利益の増加〉

設備投資に対する補助金収入(特別利益)

## 【経営指標との差異における主な要因】

### 〈売上高の減少〉

製造納期の長期化より翌期へずれ込み

### 〈経常利益の増加〉

翌期の売上案件に向けて操業度を確保  
→売上高の減少に対して利益は増加

# 2023年5月期の決算概要 (品目別売上高)

(単位：百万円未満切捨て、%表示は対前年度との増減率)

	当年度 実績値	前年度 実績値	対前年度との差異	
			絶対値	増減率
形鋼加工機	3,239	2,927	+311	+10.6%
丸鋸切断機	125	338	△213	△63.1%
金 型	452	401	+51	+12.9%
受託事業他	243	183	+59	+32.6%
部 品	530	504	+25	+5.0%
サ ー ビ ス	98	88	+9	+11.2%
合 計	4,689	4,444	+244	+5.5%

## 【対前年度との差異における主な要因】

### ＜形鋼加工機＞

#### 引き続き堅調な内需

- ・都市部の鋼構造物プロジェクト
- ・物流倉庫、データセンター等の建設

### ＜丸鋸切断機＞

#### 半導体部品の長納期化

- ・自動車関連業界の生産調整
- ・鋼材加工業界は生産活動の持ち直し

### ＜金型＞

#### 形鋼加工機の出荷増加、機械稼働の改善

- ・製品に付帯する金型の出荷増加
- ・金型単体の需要回復

### ＜受託事業他＞

#### 工作機械の生産環境の回復

- ・タケダ精機(株)の売上高増加（対前年同期比 34.6%増）

→生産設備増強の効果も後押し

# 2023年5月期の決算概要

## (連結貸借対照表：資産の部)

(単位：百万円未満切捨て、%表示は前年度との増減率)

	当年度 実績値	前年度 実績値	対前年度との差異		
流動資産	4,762	4,279	+482	+11.3%	↗
固定資産	2,528	2,459	+69	+2.8%	↗
(有形固定資産)	(2,004)	(1,964)	(+40)	(+2.0%)	↗
(無形固定資産)	(80)	(107)	(Δ27)	(Δ25.6%)	↘
(投資その他)	(444)	(387)	(+56)	(+14.7%)	↗
資産計	7,290	6,739	+551	+8.2%	↗

### 【流動資産】

#### (増加の主な要因)

- ・棚卸資産 +372
- ・売上債権 +301

#### (減少の主な要因)

- ・現金及び預金 Δ236

### 【固定資産】

#### (増加の主な要因)

- ・リース資産 +79  
(無形固定資産のリース資産を含む)

#### (減少の主な要因)

- ・機械装置及び運搬具 Δ33

# 2023年5月期の決算概要

## (連結貸借対照表：負債及び純資産の部)

(単位：百万円未満切捨て、%表示は対前年度との増減率)

	当年度 実績値	前年度 実績値	対前年度との差異	
			対前年度との差異	対前年度との増減率
負債	2,698	2,420	+277	+11.5%
(流動負債)	(1,815)	(1,769)	(+45)	(+2.6%)
(固定負債)	(883)	(651)	(+231)	(+35.5%)
純資産	4,592	4,318	+274	+6.3%
(株主資本)	(4,589)	(4,319)	(+270)	(+6.3%)
(包括利益)	(2)	(△0)	(+3)	—
負債・純資産計	7,290	6,739	+551	+8.2%

### 【負債】

#### (増加の主な要因)

- 支払手形及び買掛金 +178
- 短期借入金 +100
- リース債務 +98  
(流動負債のリース債務を含む)
- 契約負債(前受金) +45

#### (減少の主な要因)

- 長期借入金 △78  
(1年内返済予定の長期借入金を含む)
- 未払法人税等 △69

### 【純資産】

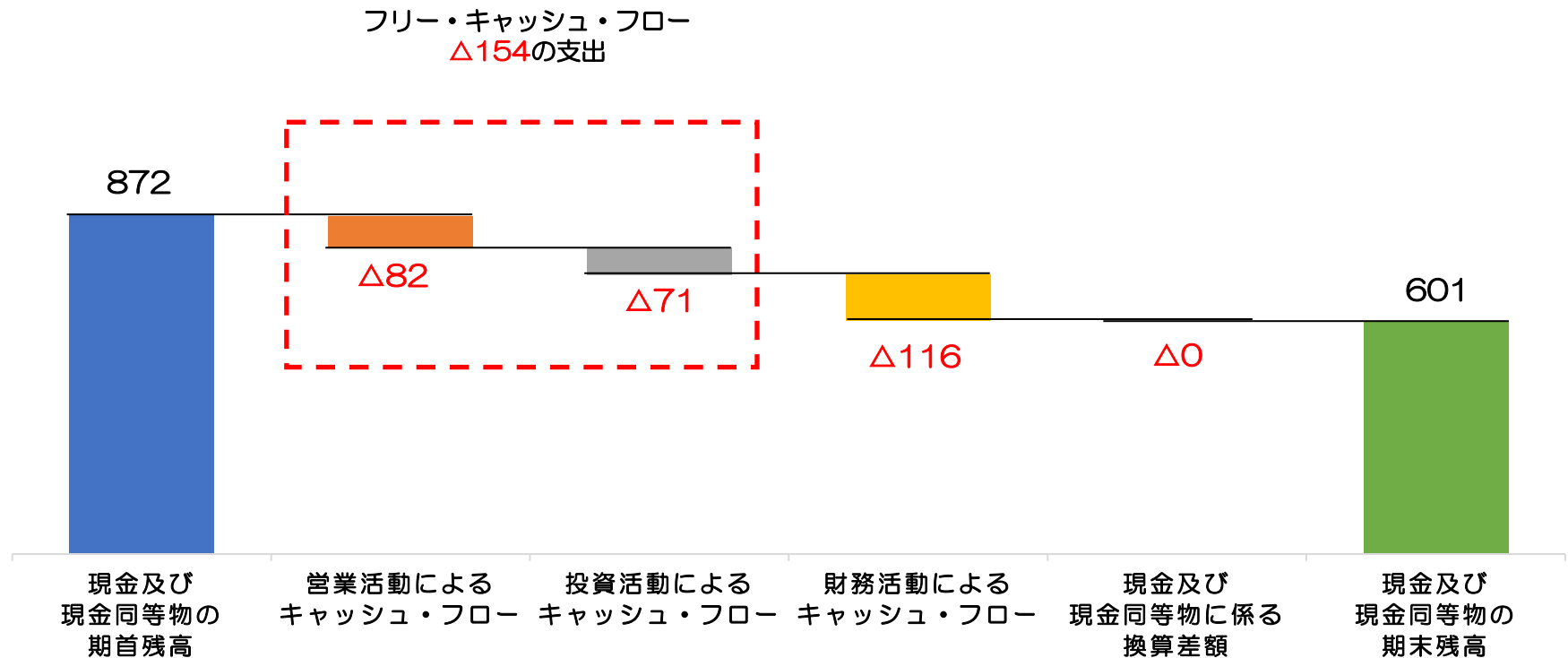
#### (増加の主な要因)

- 利益剰余金 +270
- その他有価証券評価差額金 +3

# 2023年5月期の決算概要 (連結キャッシュ・フロー計算書)①

当年度における現金及び現金同等物の増減推移

(単位：百万円未満切捨て)



(注) フリー・キャッシュ・フローに記載する金額は、営業活動によるキャッシュ・フローと投資活動によるキャッシュ・フローに記載する金額を合計した金額であります。

# 2023年5月期の決算概要 (連結キャッシュ・フロー計算書)②

(単位：百万円未満切捨て、%表示は対前年度との増減率)

	当年度 実績値	前年度 実績値	対前年度との差異	
期首残高	872	266		
営業活動によるCF	△82	991	△1,073	—
投資活動によるCF	△71	△63	△8	—
財務活動によるCF	△116	△321	+204	—
換算差額	△0	△1	+0	—
期末残高	601	872	△271	△31.1%

(注) 1. 表中に記載の「CF」とは、「キャッシュ・フロー」を略したものであります。  
2. 右記のコメントに記載している内容は、対前年度との差異についての記載であり、決算短信に記載する内容と異なっております。

## 【営業活動によるキャッシュ・フロー】

### (減少の主な要因)

- 売上債権の増減額 △415
- 棚卸資産の増減額 △380
- 法人税等の支払額 △207
- 補助金収入 △49

## 【投資活動によるキャッシュ・フロー】

### (増加の主な要因)

- 補助金の受取額 +49
- 固定資産の取得による支出 +81  
(有形固定資産と無形固定資産の合計額)

### (減少の主な要因)

- 定期預金の支出入 △93
- 保険積立金の解約による収入 △46

## 【財務活動によるキャッシュ・フロー】

### (増加の主な要因)

- 短期借入金の支出入 +500

### (減少の主な要因)

- 長期借入金の支出入 △279



# 2023年5月期の決算概要 (直近の業績推移、翌期の業績予想)①

(単位：百万円未満切捨て)

	直近の業績推移					※翌期予想
	2019年	2020年	2021年	2022年	当年度	
売上高	6,141	5,056	3,500	4,444	4,689	5,000
経常利益	861	542	178	409	416	480
(親会社株主に帰属する) 当期純利益	640	350	118	260	316	310

※2023年7月14日付  
公表の予想数値

## 【翌期の見通しについて】

### (プラス要因)

#### 底堅い継続的な内需

- 都市部の鋼構造物プロジェクト
- 国土強靱化基本計画によるインフラ需要
- 物流倉庫、データセンター等の建設

### (マイナス要因)

#### 製造部品の長納期化

- 半導体部品以外の部品にも影響

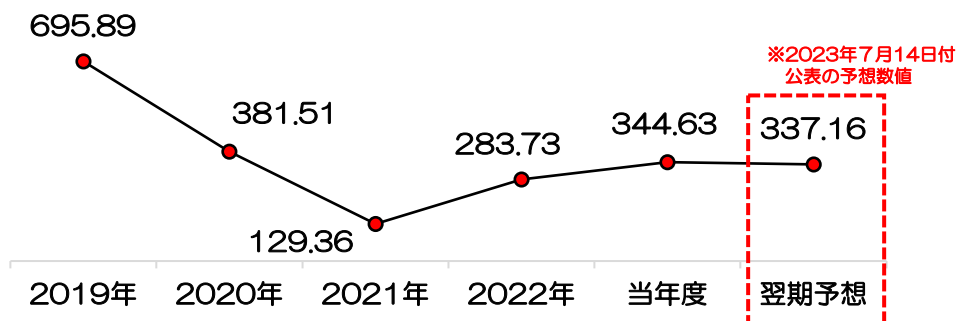
#### 製造コストの上昇

- 鋼材価格の高騰
- 電気料金等の費用負担が増加

# 2023年5月期の決算概要 (直近の業績推移、翌期の業績予想)②

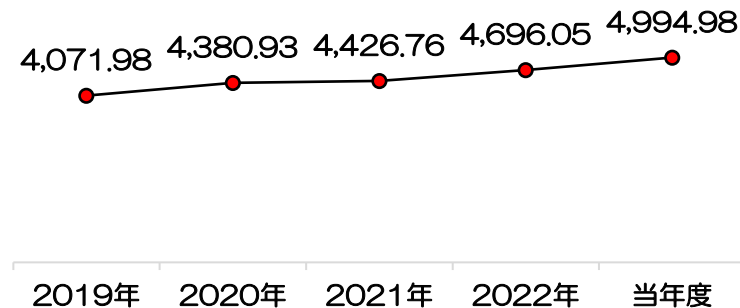
1株当たり当期純利益

(単位：円)



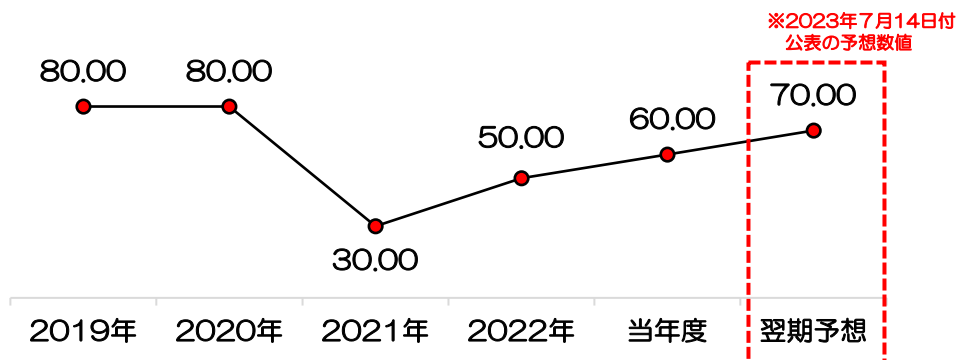
1株当たり純資産

(単位：円)



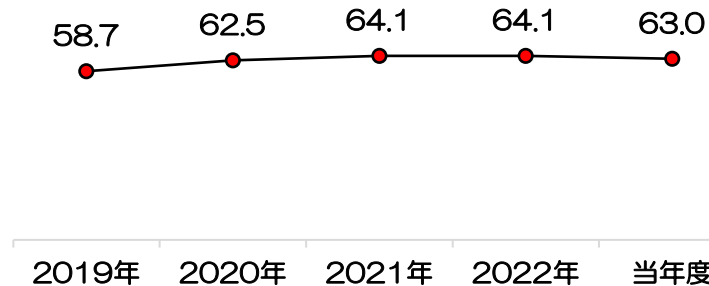
1株当たり配当金

(単位：円)



自己資本比率

(単位：%)



# 2023年5月期の決算概要

## (直近の現金及び現金同等物の推移)

(単位：百万円未満切捨て)

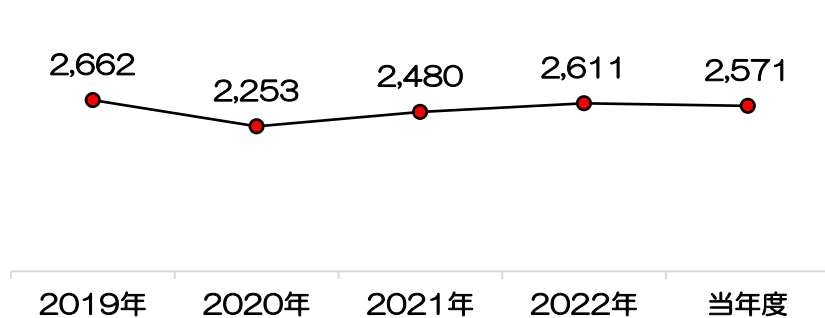
	直近の現金及び現金同等物の推移				
	2019年	2020年	2021年	2022年	当年度
期首残高	206	438	465	266	872
営業活動による キャッシュ・フロー	769	386	△138	991	△82
投資活動による キャッシュ・フロー	10	△281	8	△63	△71
財務活動による キャッシュ・フロー	△548	△77	△67	△321	△116
換算差額	0	△0	△0	△1	△0
期末残高	438	465	266	872	601
フリー・キャッシュ・ フロー	779	105	△130	927	△154

(注) フリー・キャッシュ・フローに記載する金額は、営業活動によるキャッシュ・フローと投資活動によるキャッシュ・フローに記載する金額を合計した金額であります。

# 2023年5月期の決算概要 (直近の期末株価、各利益率等の推移)

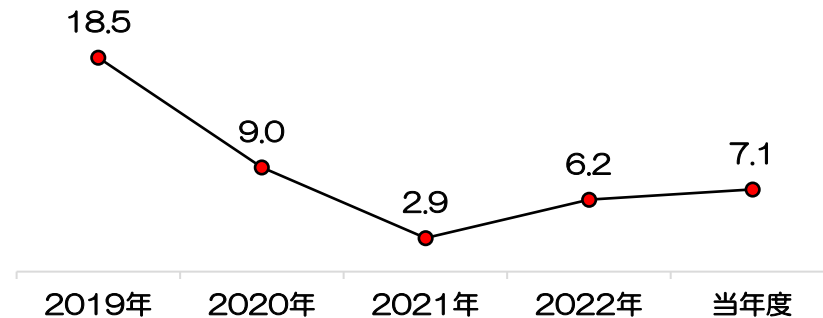
期末日の株価

(単位：円)



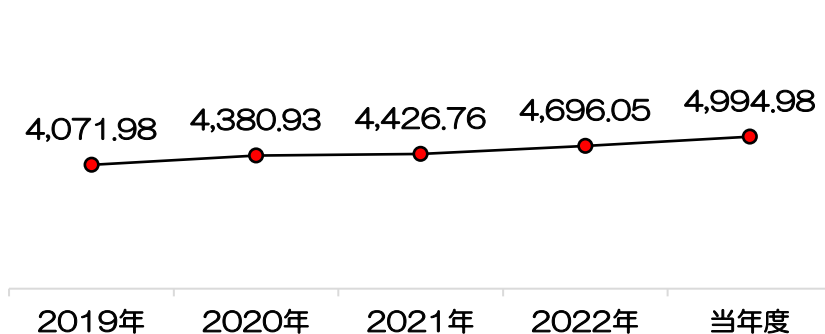
自己資本当期純利益率

(単位：%)



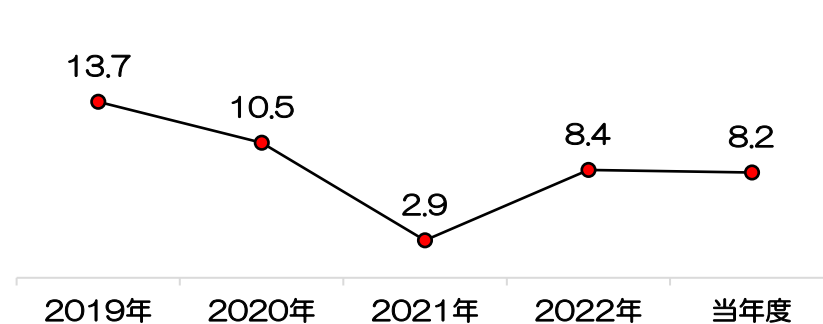
※(参考) 1株当たり純資産

(単位：円)



売上高営業利益率

(単位：%)



# 2024年5月期の経営課題への取組み

当社を取り巻く環境
引き続き底堅い内需 ・インフラの老朽化 ・都市部の建設需要
少子高齢化社会 ・生産人口の減少 (設備の省人化等の需要) ・内需の縮小
企業価値の向上 ・厳しい上場維持基準 ・求められるCG ・ESG、雇用への対応



翌期の取組み	中長期の取組み
新製品開発の強化 ・年間2機種の開発 ・客先仕様機への対応	新製品開発力の向上 (継続) ・マーケティングの強化
ブランディング活動の継続 ・新製品(機能アップ)+外観デザインの刷新→ブランド認知度の向上	
付加価値の向上 ・ICT技術による業務の改善 ・品質の強化 →ムダ取りの徹底(継続)	幅広い生産性の向上を 目指す。 ICT技術を備えた製品とサービスの充実
海外売上高の拡大 ・国内商社との連携強化 ・海外の現地販売店へ積極的な販売促進活動の展開	重点エリア：東南アジア 鋼構造物、インフラ整備 需要の取込み
人材育成の強化	(継続)
企業価値の向上 ・多様化する社会への対応 (雇用・環境等)	(継続)

# ご参考：2024年5月期の中期計画 (直近2年間の実績と3カ年中期計画について)

(単位：百万円未満切捨て)

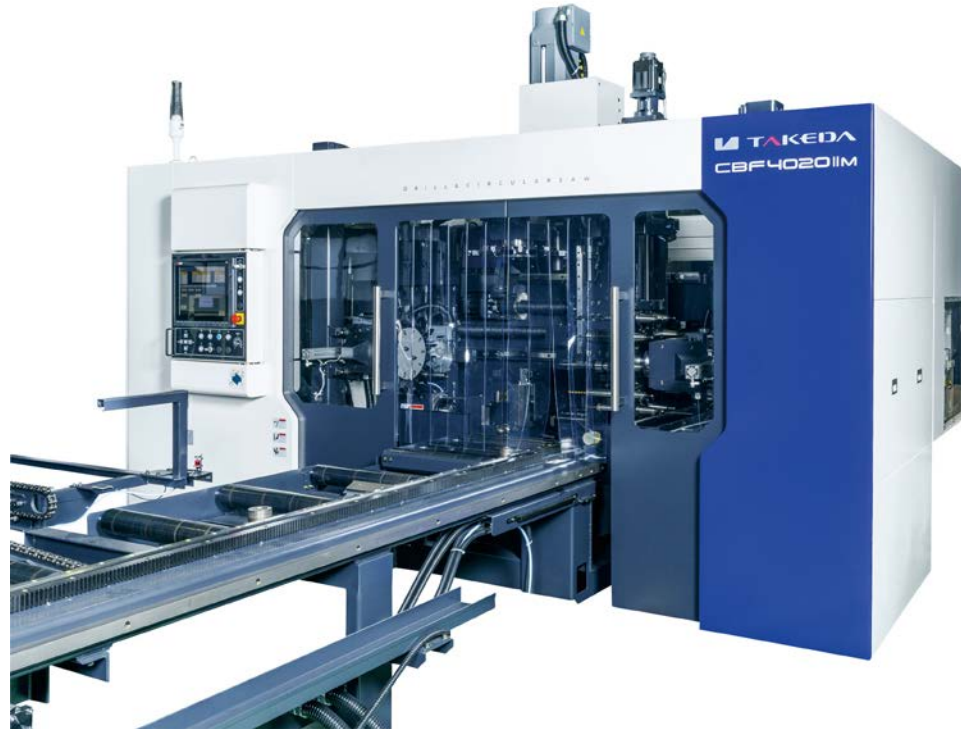
	直近2年間の実績		※2024年5月期の中期計画		
	2022年 (実績値)	当年度 (実績値)	2024年 (翌期予想)	2025年 (ご参考)	2026年 ( 〃 )
売上高	4,444	4,689	5,000	5,300	5,500
経常利益	409	416	480	560	610
(親会社株主に帰属する) 当期純利益	260	316	310	370	400

## ※ 2024年5月期の中期計画について

- 前頁に記載する取組みの結果を想定したものであります。
- 2024年は翌期予想(経営指標)、2025～2026年はご参考となります。

# 新製品のご紹介

形鋼加工機 自動測長付 孔あけ切断複合機「CBF-4020II-M」



## 【特長】

- **ミーリング加工対応**、工作機械用CNC装置を搭載
- 自動工具交換装置(ATC)を装備、工具10種類を収納
- 3軸同時加工による最短の孔あけ
- **IoTリモートサービス機能**で、機械の状態を確認
- オプションの自動搬入装置、自動搬出装置で更なる効率化

# HUMAN HEART

お客さまそれぞれの、課題に corres える加工システムをご提案します。